

1 8 肝炎対策

〔現況及び施策の方向〕

肝炎ウイルス持続感染者（以下「キャリア」という。）はB型、C型合わせて国内に 220 万人から 340 万人程度存在すると推定され、長期間の経過の後に肝硬変や肝細胞がんに移行することが指摘されている。

しかし、自覚症状に乏しいことから、肝機能に異常が出てから医療機関を受診すると既に肝硬変・肝がんに移行しているケースが少なくなく、県民への正しい知識の普及啓発、検診受診率の向上、検査で要診療と診断された者への保健指導、専門医療機関の整備が必要となっている。

このため広島県では肝疾患の専門医等で構成する肝炎対策協議会を設置し、広島県の現状と課題を整理し、肝炎対策の諸施策を推進する。

〔事業の内容〕

1 肝炎対策事業（予算額 3,414 千円）

【負担割合：国 1/2，県 1/2】

肝炎対策協議会の設置、肝疾患診療支援ネットワーク体制の充実、肝疾患診療連携拠点病院の運営及び県民への普及啓発等、総合的な肝炎対策を推進する。（平成 19 年度創設）

区 分	内 容
総合的な推進体制の強化	治療・検査・普及啓発に係る総合的な肝炎対策を推進するため「肝炎対策協議会」を設置
肝疾患診療連携拠点病院の機能強化	○肝疾患診療連携拠点病院等連絡会の運営 ○肝疾患相談室の整備 ○医療従事者研修
普及啓発活動	○肝炎ウイルスに関する正しい知識の普及啓発 ○肝炎ウイルス検査の受検促進

第 1 表 肝炎対策協議会の開催状況

区 分	開 催 回 数	主 な 議 題
平成 26 年度	1	第 2 次広島県肝炎対策計画に基づく各種施策について
平成 25 年度	1	第 2 次広島県肝炎対策計画に基づく各種施策について
平成 24 年度	1	第 2 次広島県肝炎対策計画に基づく各種施策について

第 2 表 肝疾患相談室における相談件数

（件）

区 分	広島大学病院	福山市民病院	合計
平成 26 年度	1,754	1,147	2,901
平成 25 年度	1,138	1,082	2,220
平成 24 年度	1,409	1,200	2,609

2 肝炎ウイルス検査・治療費助成事業（予算額 951,038 千円）

【負担割合：国 1/2，県 1/2。ただし「肝炎ウイルス検査の実施」については、国 65/100，県 35/100】

早期発見・早期治療体制を充実させるために、保健所で実施している検査に加え、医療機関に委託し肝炎ウイルス検査を実施するほか、全国健康保険協会広島支部が被扶養者を対象に実施する特定健康診査会場において、出張肝炎ウイルス検査を実施する。（平成 20 年度創設）

また、B 型・C 型ウイルス性肝炎は、抗ウイルス治療（インターフェロン治療、インターフェロ

ンフリー治療及び核酸アナログ製剤治療)により、肝硬変及び肝がんへの進行を防ぐことが可能な疾患であるが、治療費が高額となることから、治療費の一部を助成してアクセスを改善することにより、早期治療の促進を図る。(平成 20 年度創設)

なお、平成 26 年度は治療費助成制度について次の事項を変更し、アクセスの改善を図っている。

- ・ C 型慢性肝炎患者等に対する助成対象医療の拡大 (インターフェロンフリー治療を追加)

区 分	内 容
制度に係る説明会	○肝炎治療費助成制度について、各種関係機関に説明会を実施 (対象：保健所・市町、医療機関、患者)
受給資格の審査・受給者証の発行	○当該制度の受給者認定に係る経費 ・ 認定協議会の開催 ・ 申請受付業務等
肝炎ウイルス検査の実施	○無料検査の実施 (実施場所：保健所(支所)、委託医療機関)
医療費助成等	○患者の所得階層に応じた一定の自己負担額の上限を超えた額の助成等

第 3 表 肝炎治療受給者証交付件数

(件)

区 分	インターフェロン治療	インターフェロンフリー治療	核酸アナログ製剤治療	合計
平成 26 年度	517	886	2,710	4,113
平成 25 年度	661	—	2,538	3,199
平成 24 年度	828	—	2,325	3,153

第 4 表 肝炎ウイルス検査受検者数

(人)

区 分	県保健所(支所)	県委託医療機関	合計
平成 26 年度	23	3,208	3,231
平成 25 年度	16	3,503	3,519
平成 24 年度	19	3,161	3,180

3 ウイルス性肝炎対策(予算額 14,457 千円)

【負担割合：国 1/2、県 1/2】

日本肝炎デーに合わせて「肝炎ウイルス検査啓発キャンペーン」を実施し、肝炎に関する正しい知識の普及啓発により早期発見・早期治療の必要性を周知するとともに、キャンペーン会場で無料肝炎ウイルス検査を実施することにより、受検機会の拡大を図る。

肝炎ウイルス検査の受検勧奨や陽性者に対する医療機関への受診勧奨を一層強化するため、市町の保健師、医療機関の看護師及び企業の健康管理担当者等を対象に肝炎に関する研修を実施し、肝炎患者等の適切な肝炎治療をコーディネートできる者を養成し、「肝疾患コーディネーター」として認定する。既に認定を受けた者に対しても継続的に研修を行い、最新の知見を習得させる。(平成 23 年度創設)

「広島県肝疾患患者フォローアップシステム」を活用した継続的な受診勧奨及び慢性肝炎患者等に対する定期検査費用の助成及び肝炎重症化・肝がん移行を予防する。(平成 26 年度創設)

区 分	内 容
肝炎ウイルス検査啓発 キャンペーン【新】	○出張肝炎ウイルス検査 200名
肝疾患コーディネーターの養成・活用	○養成講座（2会場（広島、福山），各2日）150名養成 ○継続研修（2会場（広島、福山），各1日 広島会場は2回）
肝炎重症化・肝がん予防 推進事業	○肝炎ウイルス陽性者のデータベース登録及び受診勧奨 ○慢性肝炎患者等に対する定期検査費用等を助成

第5表 肝疾患コーディネーター養成者数
(人)

区 分	養成者数
平成26年度	216
平成25年度	132
平成24年度	161